

Ⅲ. 各家庭のICT環境と活用状況

95%の家庭でホームページ閲覧が可能であるが、その内スマホが6割を占め、各家庭においてオンライン学習が実現できるとは、現時点では考え難い。

ホームページ等の発信は保護者向けの情報提供であり、児童の学習にオンラインを活用できる段階ではない。**アナログの手法を工夫することが重要!**

- 「■」 緊急課題
- 「→」 具体的な方策
- 「▽」 そのための問題

ネット閲覧可・・・9.5割

現実的な

- 有用な情報の効果的な適時発信を重視
 - 有用な情報をホームページで発信する。
 - ▽ 児童が閲覧・活用できる段階ではない。

通信教育の発信

■ 現状ではオンライン学習は不可能

- 全家庭で実行可能な方法をとるべき。
- **双方向性を担保する。**
在宅だけで実行するのは不可能。
ホームページ、メールを活用しながらも、感染防止の上、対面方式を工夫する。

プリントアウト・・・7割

ダウンロード・・・8.5割

ファイル送信・・・8.5割

- 児童には保護者の支援が必須
- 保護者がICTを使いこなせるようにする
 - 必要不可欠な操作について、保護者向けのICT機器活用マニュアルを作成する。
 - ▽ 1人1台のタブレットを貸与したとしても、使い方を知らない児童は活用できない。
 - ▽ 今から短期に、保護者が活用方法を身に付け、児童に指導することは不可能と思われる。

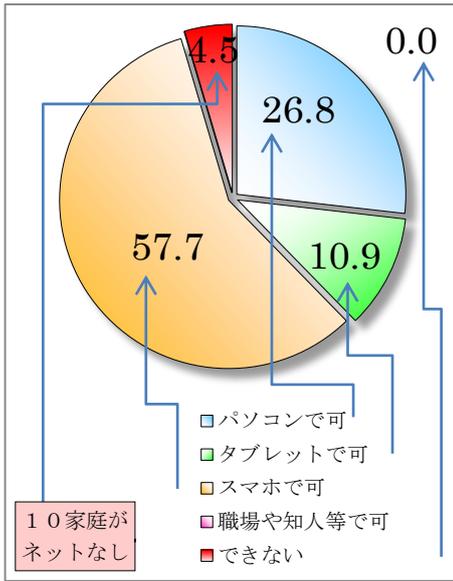
【 I C T 環 境 】

ネット環境・・・9.5割

○パソコン・タブレットは4割。

○6割はスマホである。

○それも不可の家庭が10件。

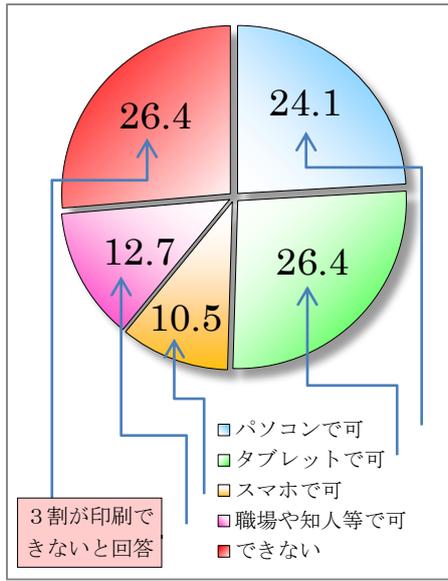


プリントアウト・・・7割

○可能な家庭は7割という回答。

○不可能という回答が3割。

※実際は、コンビニ等で可能。



リテラシー・・・8.5割

○可能な家庭は8.5割という回答。

※実際は、操作技術の課題か。

